

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	マシンデザイン演習第二		
英文授業科目名	Machine Design and Drawing II		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	白石 亘、益田 良男、[結城]		
居室	東4-405(結城)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
白石 亘 益田 良男	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>機械の設計および製図手順を修得する。工学のすべての分野はものを作るところに帰着する。ものを作るには、動作原理・アイデアを提出し、機械の仕様・動作原理を明確にし、モデル化により構造解析等必要な検討をおこなわねばならない。さらに設計の過程を設計書の形で文書化し、製造者に設計者の意図を忠実に伝えるために製図の形で文書化する必要がある。具体的な課題でこれらの過程を体験する。</p> <p>この過程で製図基礎の復習、製図および機械要素資料の読み取りを演習し、設計の基礎を修得する。またスケジュール管理能力、資料収集能力、コミュニケーション能力、文書作成能力を養う。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>マシンデザイン基礎、マシンデザイン第二前期、材料力学第一および演習、材料工学第一、機械力学および演習</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>機構要素設計、料力学第材二、材料工学第二</p>

<p>【教科書等】</p> <p>吉澤武男編著：新編JIS機械製図（森北出版） 課題（プリント） 計算例（プリント）</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

機械をモデル化して解析する能力，情報を収集する能力，作業量を見積り，期限を守る自己管理能力を養ってください。また，機械がどのような仕組みで作られ機能しているかを主体的に学んでください。教わるのではなく学ぶ。講師は学ぶ手伝いをするだけです。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況，(20%)

進捗状況報告提出，(10%)

準備課題提出。(10%)

課題(設計計算書、検討図)提出，(30%)

課題(組み立て図、部品図)提出，(30%)

(各提出物の提出時期を重要視する。期日までに進捗状況報告・課題が提出されない場合は評価されない。)

【オフィスアワー：授業相談】

授業内容の理解促進等のために，以下の時間帯で質問・相談に応じます。

(例2) 火曜日 12:30~13:00、16:10~17:30

【学生へのメッセージ】

設計作業を通して、コミュニケーション能力を高めましょう。

【その他】